

市 政 報 告

第7次舞鶴市総合計画の目標と途中経過

ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし

舞鶴市長 多々見 良三

新型コロナウイルス感染症により明らかになったこと

・東京などの大都市は、社会生活、経済活動が、「3密」の状態では成り立たない都市構造

・密な居住

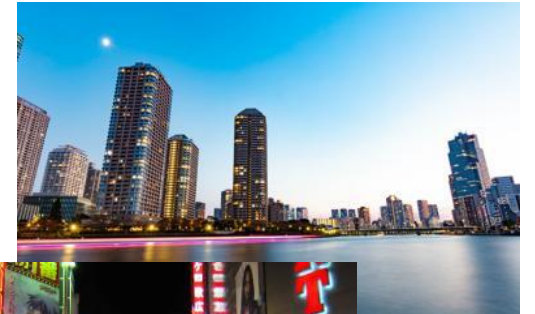
東京23区の面積は約630 k m²。舞鶴市と綾部市の面積の合計（約690 k m²）より少し狭い程度。ここに人口965万人が生活している。



・大量集客で成立する産業構造

・密な移動

・大量消費をカバーできない低い生産性



従来の社会構造：
大都市集中型

対策困難



今後求められる社会構造：
地方分散型社会

地方への「分散化」



長期化するコロナ禍において、地方移住への関心のある割合が高まっている

コロナ前：約32% → 約**45%**（内閣府調査）

地方分散型社会において重要な役割を果たす「地方都市」とは

1. 豊かな自然、農水産物



2. 連綿と引き継がれてきた歴史・文化



3. お互い様の精神が根付いた地域コミュニティ



4. 大都市と適切な距離を保ちながらつながることができる 高速交通ネットワーク



5. 産官学金労言士等をはじめ、 教育機関や民間企業との多様な連携

地方分散型社会において重要な役割を果たす「地方都市」とは

◆将来のまちの姿

I Tを活用した 心が通う便利で心豊かな田舎暮らしができるまち

水平連携により人口20万人規模の都市機能を確保しながら、都会にはない豊かな自然、歴史・文化の中で得られる満足感や充実感、自己実現を果たせるまち

- 市民（事業所）が元気なまち
- 住み続けたいと思えるまち、人が集う魅力あるまち
- 新たな技術を導入した未来型のスマートなまち
- 多様な連携のもと、持てる資源を効果的に活用するまち

新型コロナウイルス感染症が広がる1年前から提唱してきた、「I Tを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし」を目指すまちづくりが、まさにビヨンド・コロナ社会における全国の地方都市のモデルとなる



I Tを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らしの 実現に向けたまちづくり戦略

- ① 心豊かに暮らせるまちづくり
- ② 安心のまちづくり
- ③ 活力あるまちづくり

I Tを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らしの実現に向けたまちづくり戦略

「心豊かに暮らせるまちづくり」の主な取組

■ 子育て・教育環境の充実

⇒GIGAスクール構想による1人1台タブレット端末の配備、幼保連携型認定こども園への移行

■ 移住・定住施策の推進

⇒お試し住宅の整備、VRを活用した空き家紹介

■ 文化・スポーツのまちづくりの推進

⇒ソプラノ歌手 田中彩子さんの文化親善大使就任、ホストタウンの推進、レスリング場の整備

■ 健康増進と賑わいの創出

⇒多世代交流施設「まなびあむ」の開設

■ 地域共生型MaaSの取り組み

⇒お互い様の精神の根付いた地域コミュニティの力を活かし、利用者の減少や交通事業者の担い手不足の課題に直面する地域公共交通を補完（OSSのアプリの活用）



I Tを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らしの実現に向けたまちづくり戦略

「安心のまちづくり」の主な取組

■ 防災・減災対策の強化

⇒ 舞鶴市総合防災訓練の実施、電源オフの状態でも緊急放送が流れる自動起動ラジオの配付、先端技術を活用したモニタリングシステムの整備

■ 治水・浸水対策事業の推進

⇒ 東西市街地の浸水対策（西市街地の高野川流域における大手ポンプ場及び静溪ポンプ場等の整備）

■ 地域医療の維持・確保

⇒ (仮称)舞鶴地域麻酔診療センターの設立に向けた準備



選択と集中・分担と連携



休日急病診療所



I Tを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らしの実現に向けたまちづくり戦略

「活力のあるまちづくり」の主な取組

■ 京都舞鶴港の振興

⇒ 舞鶴国際ふ頭第2バース整備と第II期整備工事の着手

■ 観光まちづくりの推進

⇒ 赤れんがパーク周辺一帯の整備（Park-PFI制度を活用した民間活力導入）

■ I T人材の育成

⇒ I T企業の支社を誘致し、近畿能開大京都校と連携のもとI T人材の育成と地元雇用を実現

■ 道路ネットワークの整備

⇒ 舞鶴若狭自動車道舞鶴西IC以西4車線化、国道27号西舞鶴道路の整備、（仮称）新白鳥トンネルの区間の工事着手



 **infonic** 舞鶴支社



西舞鶴道路と臨港道路交差点部完成予想図



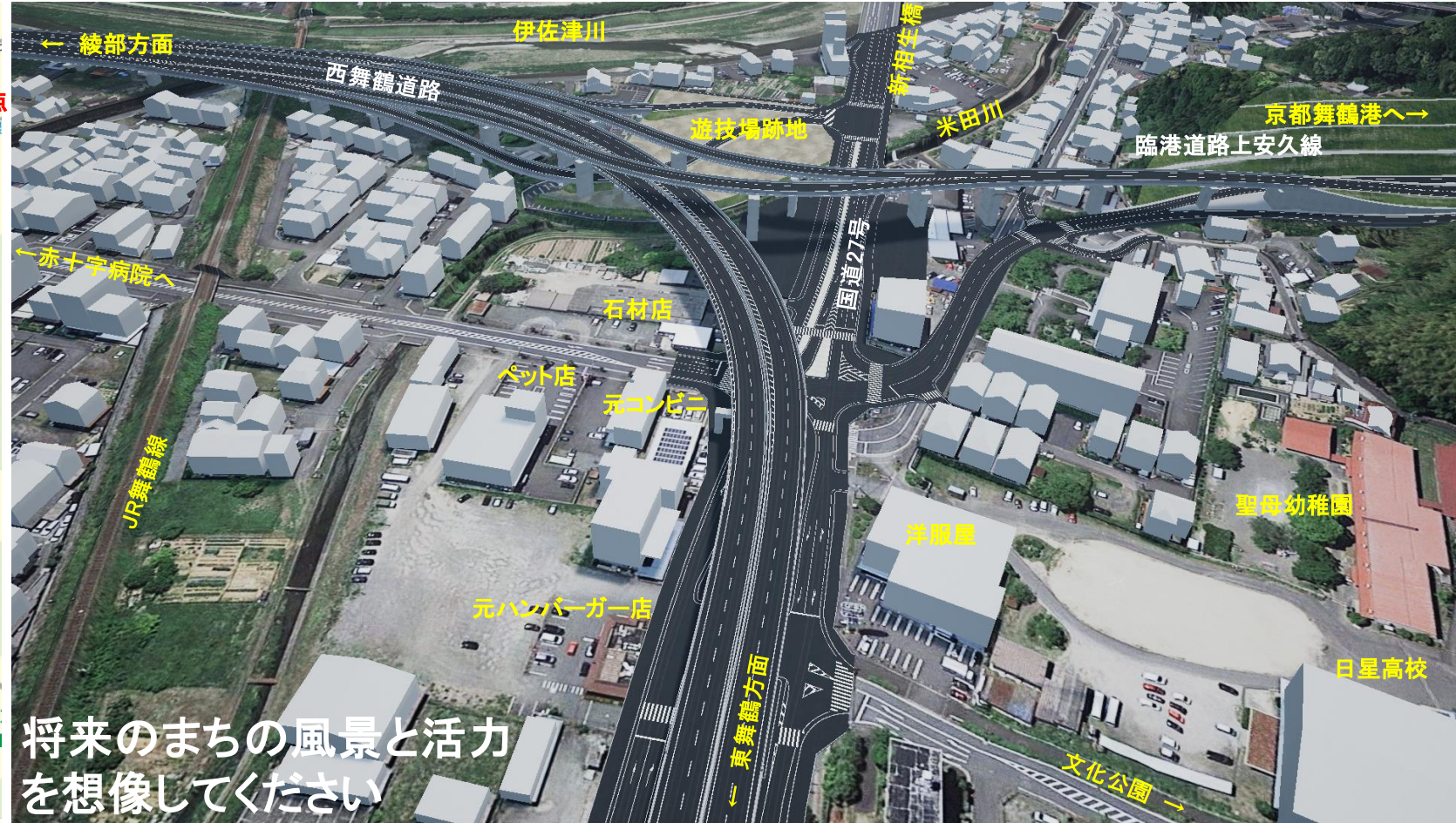
新白鳥トンネル(仮称)の完成イメージ図

舞鶴市で進む道路ネットワークの整備

舞鶴市域で進められている幹線道路等の主要な基幹インフラ事業。
国や京都府の事業を促進させるため、舞鶴市では積極的に地元調整などに取り組んでいます。

- 国道27号西舞鶴道路 .. 国土交通省
- 臨港道路上安久線 .. 国土交通省
- 臨港道路和田下福井線 .. 京都府
- 国道27号青葉改良(青葉トンネル改良) .. 国土交通省
- 府道小倉西舞鶴線(白鳥トンネル工区)4車線化 .. 京都府
- 府道小倉西舞鶴線(倉谷工区)4車線化 .. 京都府
- 市道和泉通線 .. 舞鶴市
- 市道引土境谷線 .. 舞鶴市

道路整備：国道27号西舞鶴道路



- 関西経済圏における日本海側の拠点「京都舞鶴港」と高速道路ネットワークとの連結
- 西地区市街地における交通環境の向上
- 災害に強い道路ネットワークの確立



JR舞鶴線を
越える橋の
基礎工事を
施工中

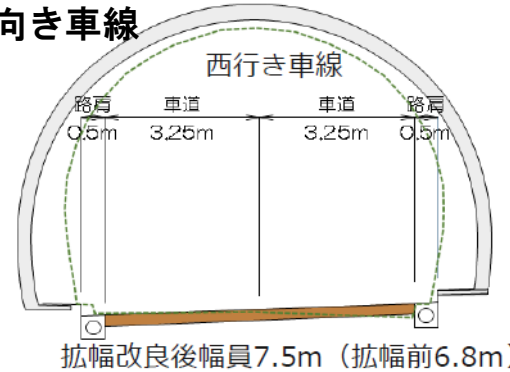
道路整備：小倉西舞鶴線（白鳥トンネル工事区間）



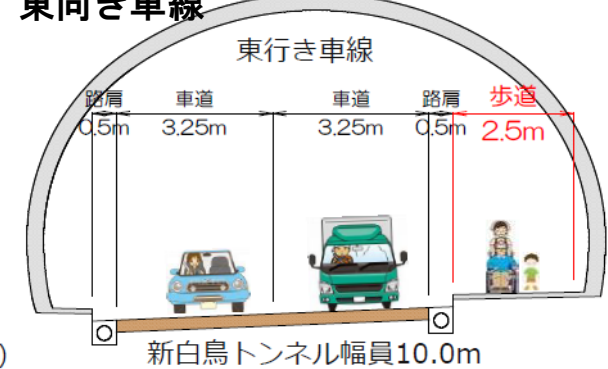
「東西市街地の一体化による活力あるまちづくり」に向け

既存トンネル（拡幅改良）

西向き車線



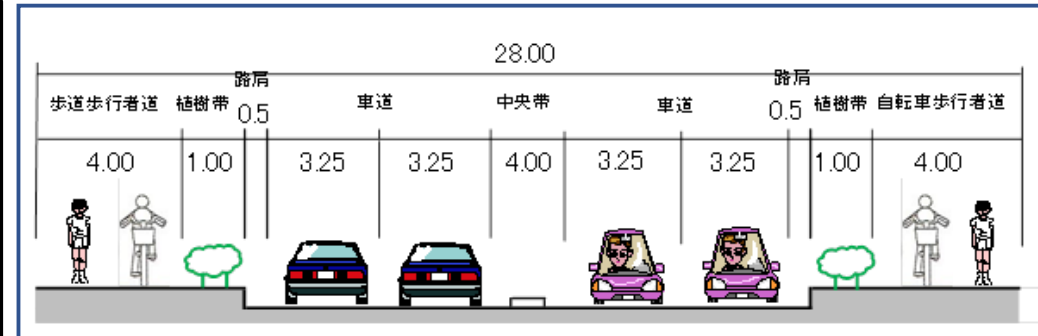
新白鳥トンネル（新設）
東向き車線



森から天台まで約1.4km区間の4車線化が進められており、現在は新白鳥トンネル（仮称）を掘削し、その土で西側の盛土を、東側で山切りが進められています。
トンネル333mのうち250mまでの掘削が進んでいます



道路整備：和泉通線



標準横断面図



道路整備を進めている和泉通線周辺の様子

東舞鶴駅周辺への交通ネットワーク整備
と通学路の安全確保を目的に和泉通線
(南工区) 約340mを整備中。

選ばれる地方都市への着実な成果

2022年版「住みたい田舎」ベストランキング 近畿エリアで京都府北部地域が上位にランクイン！

| シニア世代が 住みたいまち | | | 子育て世代が 住みたいまち | | | 若者世代・単身者が 住みたいまち | | |
|------------------|----------|--------|------------------|----------|---------|---------------------|----------|--------|
| 1 | 兵庫県朝来市 | 79.64点 | 1 | 京都府舞鶴市 | 113.26点 | 1 | 兵庫県豊岡市 | 92.00点 |
| 2 | 京都府綾部市 | 79.31点 | 2 | 兵庫県豊岡市 | 107.39点 | 2 | 京都府舞鶴市 | 83.55点 |
| 3 | 京都府舞鶴市 | 78.28点 | 3 | 兵庫県朝来市 | 99.49点 | 3 | 兵庫県朝来市 | 82.15点 |
| 4 | 兵庫県豊岡市 | 76.03点 | 4 | 兵庫県養父市 | 98.07点 | 4 | 京都府綾部市 | 72.72点 |
| 5 | 京都府福知山市 | 73.07点 | 5 | 京都府綾部市 | 95.81点 | 5 | 京都府南丹市 | 72.58点 |
| 6 | 京都府南丹市 | 70.28点 | 6 | 兵庫県相生市 | 95.70点 | 6 | 兵庫県養父市 | 69.96点 |
| 7 | 兵庫県相生市 | 69.82点 | 7 | 京都府南丹市 | 95.62点 | 7 | 和歌山県田辺市 | 66.75点 |
| 8 | 兵庫県養父市 | 68.75点 | 8 | 兵庫県宍粟市 | 94.34点 | 8 | 兵庫県加西市 | 64.93点 |
| 9 | 兵庫県加西市 | 68.37点 | 9 | 兵庫県加西市 | 89.27点 | 9 | 兵庫県宍粟市 | 64.38点 |
| 10 | 兵庫県南あわじ市 | 67.64点 | 10 | 兵庫県神戸市 | 88.30点 | 10 | 兵庫県南あわじ市 | 64.30点 |
| 11 | 兵庫県多可町 | 66.84点 | 11 | 和歌山県田辺市 | 88.19点 | 11 | 兵庫県神戸市 | 63.80点 |
| 12 | 兵庫県宍粟市 | 66.48点 | 12 | 兵庫県神河町 | 87.92点 | 12 | 滋賀県長浜市 | 63.34点 |
| 13 | 兵庫県赤穂市 | 65.99点 | 13 | 滋賀県長浜市 | 87.01点 | 13 | 兵庫県香美町 | 62.88点 |
| 14 | 兵庫県丹波篠山市 | 65.05点 | 14 | 兵庫県南あわじ市 | 86.44点 | 14 | 兵庫県丹波市 | 62.64点 |
| 15 | 兵庫県新温泉町 | 63.73点 | 15 | 京都府福知山市 | 85.13点 | 15 | 兵庫県神河町 | 62.36点 |

移住者数の推移

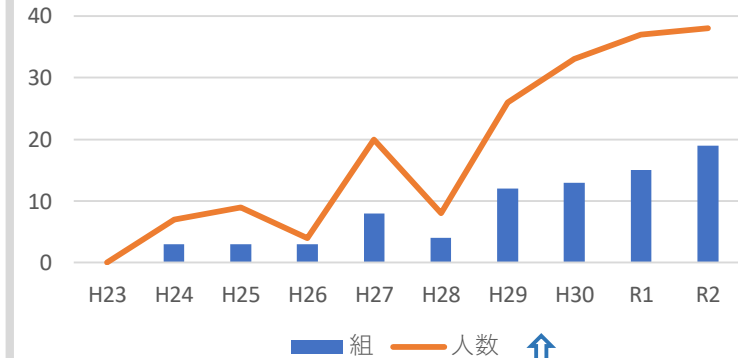
H23年度 0組0名（市長就任時）



R2年度 19組38名

10年間合計 80組182名

舞鶴市の移住者推移(実績)



平成29年：移住定住促進担当課長設置
平成30年：移住・定住促進課設置

今後の事業展開（多様な連携の推進・強化）



赤れんがコワーキングスペース



京都府立大学 北部サテライトオフィス



多世代交流施設「まなびあむ」

本市が有する機能(施設)を有効に活用するとともに、これまで築き上げてきた高等教育機関や民間企業等との連携を更に強化し、多くの人とのつながりをもって施策を展開。

本市の使命と役割

- 国防、海の安全の拠点
- 造船業、ものづくり産業の拠点
- 関西経済圏を支える電力を供給するエネルギーの拠点
- 豊かな自然歴史文化を有する「海の京都広域観光圏」
- 拠点機能であり災害に強い「京都舞鶴港」
- 太平洋側をバックアップする高いリダンダンシー機能

我が国における日本海側重要拠点として、重要な京都府北部地域を、50年後も、100年後もしっかりと後世に引き継いでいける「持続可能なまち」をつくることが我々の責務

ビヨンド・コロナ社会の構築に向けた「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし」の実現に向けて

◆これまで築き上げてきたソフト・ハード両面における多様な取り組みが相互につながり、大きな相乗効果を上げるとともに、企業や教育機関などの多様な連携をより強くし、広げていくことが必要。

◆心豊かに暮らすためには「やすらぎ」と「ゆとり」が必要。歴史・文化・スポーツを活かしたまちづくりを進める。